

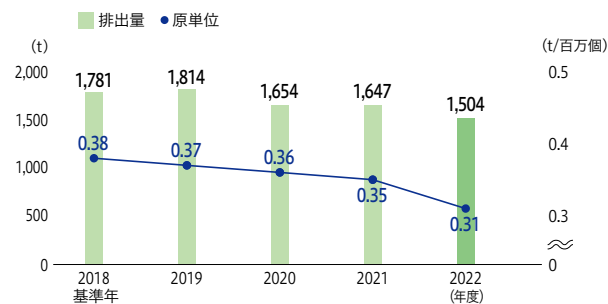
循環型社会の構築

東海理化学グループでは、限りある資源を有効に使用していくため、製品の生産に使用する樹脂や金属など、さまざまな資源の循環利用を進めています。また、生産活動では、水の使用が不可欠であるため、使用量の低減や水質管理の徹底により放流先への影響低減や濁水によるリスクの低減に取り組んでいます。

生産における廃棄物の低減

製品の歩留まり改善や不良率の低減、金属廃材の再利用化、資料のペーパーレス化などの3R徹底に加えて、樹脂材料再生材化などのニューアブルの活動や、廃材を活用したアップサイクル製品の開発などに取り組み、廃棄物の排出量低減や資源の有効活用を進めています。廃棄物排出量や、廃棄物処理状況については、廃棄物総合管理サービス「GENESYS ECO」を利用して管理しています。

〔廃棄物排出量と原単位の推移(東海理化)〕



アップサイクル商品の開発

シートベルト製造工程で発生する端材は、ファッション小物として再生し商品化しています。地元のテントメーカーにも協力を呼びかけ、提供されたテント端材を組み合わせでデザインにこだわるなど、商品価値を高め、アップサイクルの実現に取り組んでいます。



シートベルト端材



シートベルト細断



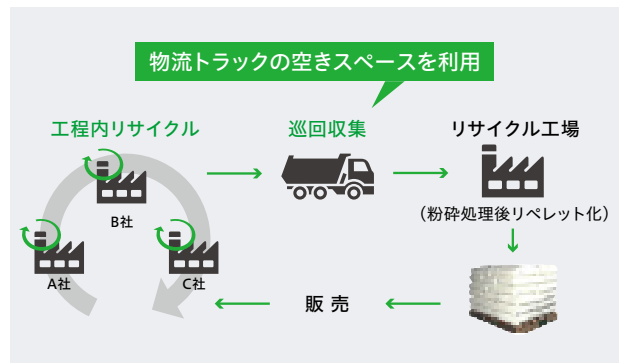
完成品ペンケース



シートベルト縫合

サーキュラーエコノミーの取り組み

樹脂廃材活用プロジェクトを発足し工程内リサイクルの取り組みを強化しています。さらに、仕入先さまを含むサプライチェーンでの資源循環体制を構築し、工程内で消費しきれない分は塗装治具に活用、今後は製品材料としても利用を拡大していきます。



梱包材でのプラスチック使用量の低減

コネクタ製品の梱包に使用している精密トレーを100%再生材の樹脂材料に変更しました。これによりプラスチックの使用量を41.6t低減できました。

また、材料価格が高騰している中、再生材を採用することで、コスト増加も抑えられています。



再生材を使用した精密トレー

資材重量 **41.6t低減**

水使用量の低減

めっき処理工程では、排水の一部をイオン交換塔で処理した後、工程内で再利用しています。また、半導体の製造工程では、微細なゴミを除去するために使用する純水の製造過程で発生する濃縮水や、使用後の純水の一部を再利用し、水の使用量と排出量を低減しています。



イオン交換塔